

論文審査の要旨

報告番号	甲・㊦ 第 2965 号	氏名	武田 健一
論文審査担当者	主査 吉田 仁 教授 副査 村上 雅彦 教授 副査 瀧本 雅文 教授		
<p>(論文審査の要旨)</p> <p>著者らは生体内で約 400 倍までの超拡大観察を可能とする内視鏡 endocytoscopy (EC) に Narrow-band imaging (NBI) を併用し, EC 観察での腫瘍血管構造変化と病理学的因子との関連性を検討している.</p> <p>① 腫瘍血管径ならびに腫瘍血管径変化率と, 壁深達度との関連性について検討した.</p> <p>② 腫瘍血管径ならびに腫瘍血管径変化率と, 脈管侵襲の有無について, 壁深達度 T1 以深の腫瘍を対象とし深達度別に検討した.</p> <p>結果</p> <p>① 壁深達度が深くなるにつれて腫瘍血管径と腫瘍血管径変化率は大きくなる傾向がみられ, Tis と T1 腫瘍, T1 腫瘍と T2 腫瘍では有意差を認めた.</p> <p>② 腫瘍血管径は脈管侵襲陽性腫瘍で大きくなる傾向があり, T1 腫瘍では静脈あるいはリンパ管侵襲陽性腫瘍で陰性腫瘍と比べ有意差をもって大きかった.</p> <p>腫瘍血管径変化率は T1 腫瘍, T2 腫瘍, T3 腫瘍において静脈侵襲陽性腫瘍で陰性腫瘍に比べ有意差をもって大きく, T3 腫瘍ではリンパ管侵襲陽性腫瘍で陰性腫瘍と比べ有意差をもって大きかった.</p> <p>本論文は新しい知見を得ており、学術上価値のあるものと考えられる.</p> <p>論文題名 : Comparison of the endocytoscopic and clinicopathologic features of colorectal neoplasms (大腸腫瘍性病変におけるエンドサイトスコープと臨床病理学的特徴の比較検討)</p> <p>掲載雑誌名 : Endoscopy International Open, Vol.4 No.4 E397-E402 2016 年</p>			

(主査が記載、500 字以内)